

仕事 の窓 1

総務部

健康・バイオ関連企業による 「沖縄力発見ツアー2016」

～ 沖縄への投資促進や新たな産業の
創出・振興を目指して～



ワーキング・ディナーにおける意見交換

県外から参加された企業の方々と、豊田俊郎内閣府大臣政務官、沖縄県幹部、県内経済界関係者などの方々が一堂に会し、ワーキング・ディナーを実施しました。ディナーの冒頭、豊田政務官から、「沖縄は、急成長するアジア市場への拠点として圧倒的な『地の利』であり、新たなビジネスのシーズを育てる『知の基盤』が急速に形成されている。このツアーで、沖縄の魅力やポテンシャルを実感していただき、今後の事業連携や沖縄進出を検討していただきたい」と挨拶がありました。また、能登沖縄総合事務局長からは「沖縄の投資環境について」と題

ワーキング・ディナー

内閣府では、9月8日から9月9日にかけて、沖縄の優れたビジネス環境をご理解いただくため、本土企業の幹部の皆様を対象に、インキュベーション施設見学や沖縄経済界との交流会などを盛り込んだ「沖縄力発見ツアー2016」を開催しました。

今回のツアーでは県外企業など22社（22社23人）が参加し、初日のオリエンテーション後に、おきなわクリニカルシミュレーションセンターの視察及びワーキング・ディナーの開催、二日目に、国立沖縄工業高等専門学校、沖縄科学技術大学院大学、沖縄バイオ産業振興センター、沖縄県工業技術センター、素材産業振興施設（沖縄県金型技術研究センター他）、中城湾港新港地区賃貸工場の視察を行うとともに、県内の健康・バイオ関連企業などとの意見交換などを行いました。



能登局長によるプレゼン



豊田内閣府大臣政務官

して、県内の投資環境についての概況説明を行いました。

本土からの各参加企業の方々は、県内企業、大学・研究機関や業界団体との情報交換を行い、相互の交流を深めました。

沖縄県工業技術センター との意見交換

沖縄県工業技術センターでは、同センターの技術支援班の業務概要や生産技術班及び食品・化学研究班の研究開発の説明をいただきました。参加企業からは多くのご意見が寄せられ、関心の高さがうかがえました。



沖縄県工業技術センターとの意見交換

視察

おきなわクリニカルシミュレーションセンターにおいては、大屋センター長や又吉助教から沖縄県における医療の特徴及びシミュレーションセンターと産業の連携について説明をいただきましたほか、センター内の見学を行いました。

また、国立沖縄工業高等専門学校においては、同校の概要説明のほか、在学生によるプレゼンをいただくなど、沖縄の産学共同研究の可能性を実感していただきました。



おきなわクリニカルシミュレーションセンター視察

ツアー参加者からの声

ツアー参加者からは、

・医療機器メーカーだけでなく、物流関連、医薬、食品関連の異業種の方々とも交流することができた。業種により、関心事や物事の捉え方の違いなどがあり、今後の参考

になった。

・視察を通じて、沖縄の優遇制度や、研究環境を知ることができ、非常に参考になりました。物流面や人材雇用の面での問題はありますが、沖縄に進出するメリットがあるように感じました。

・今回接点をもった沖縄進出企業との協業の可能性を見いだせた。行政のサポート体制の充実には魅力を感じた。同時に沖縄の中の人材育成も並行して進める事で、より成功すると感じた。

などの意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーでいただいた、様々なアドバイス、ご指摘を今後の取組に活かしていきたいと考えています。



沖縄県金型技術研究センター視察



沖縄科学技術大学院大学視察



国立沖縄工業高等専門学校視察